

水道管の凍結にご注意を！

気温が氷点下になると、水道管が凍って水が出なくなったり、ひどいときには破裂することもあります。宅地内に引き込んである水道管は、お客様の財産です。

「破損したときの修理代」「漏水時の水道料金」は自己負担となります。

冷え込む前に水道管やメーターの凍結対策をお願いします。

最低気温が
-4℃以下の時
は要注意！

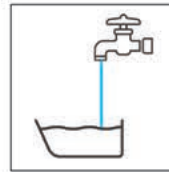
～予防方法～

01

蛇口から水を少量（割り箸1本分）出しておく。

【目安：一晩で浴槽一杯分程度】

- 出した分も水道料金はかかるので出しすぎには注意しましょう。
- 容器等に溜めて、掃除や洗濯に有効活用しましょう。

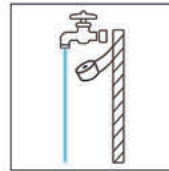


02

市販の水道管用保温カバーや布で覆い、上からビニールテープで巻く。

凍結した場合は…

凍結した部分にタオルや布を被せて、その上からゆっくりと『ぬるま湯』をかけましょう。熱湯は絶対にかけてください。



他の対策方法は
こちらから
ご確認ください。



～漏水した場合～

漏水の確認方法

- ①家中の蛇口を全部閉める。
- ②メーターボックスを開けて、水道メーターのふたを開ける。
- ③中のメーターのパイロットが動いていないか、しばらく確認する。
- ④パイロットが回転している場合は、漏水しているので、早急に修理する。

01

漏水してしまった時には、慌てずに『元栓』（メーターボックス内などに設置）を閉める。

- 元栓の場所が分からない時、閉めても水が止まらないときには、企業団の担当窓口にご連絡ください。

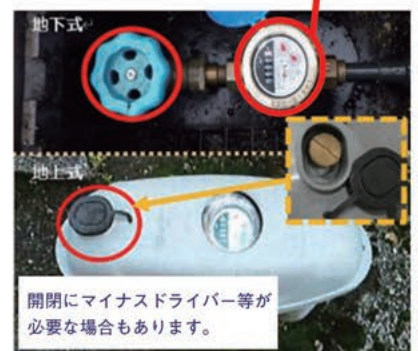
水道メーター
パイロット▶



02

漏水部分をテープなどで応急処置をして、指定店に修理を依頼する。

- 修理費用についてはお客様のご負担になります。費用は工事内容および工事店によって異なりますので、詳しい内容は直接依頼される指定店にご確認ください。



▲『元栓』の例（違う形のものもあります）

『指定給水装置工事事業者』（指定店）一覧
<https://www.sagaseibu-suidou.or.jp/main/79.html>

